

次代を担う

～青年中央会の会員紹介～

「三重県中小企業青年中央会」は、三重県中小企業団体中央会の会員組合に組織されている青年部を会員としています。

会員相互の連携と組合青年部等の事業活動を強化することにより、次世代を担う指導者の養成を図り、中小企業並びに組合の事業活動促進、企業の振興発展に寄与することを目的としています。

ここでは、青年中央会会員である組合青年部さんをご紹介します。



三重県旅館ホテル生活衛生同業組合
青年部 部長 西田 太郎 氏
(にじだ たろう)



青年部研修

三重県旅館ホテル生活衛生同業組合(県旅連)青年部は、県旅連県内各支部より、若い世代が集まり、業界の活性化・情報共有を目的として活動し、経験・情報を語り合い、その中で多くの仲間を作り、親睦を深めており、現在のメンバーは26名です。

県旅連青年部は県旅連との事業協力を通じて実戦部隊としても活動しており、定期的に開催されるセミナー・勉強会の中で、業界が抱える様々な課題や経営に関する問題点、集客アップ・コスト削減のヒントを得て、自己のスキルアップの一助となっています。

青年部の事業としては、インターネットを利用した予約システムの研究、例会・研修会の開催による会員相互の親睦と活動の強化及び新入会員の拡大と育成、協賛各業者との積極的協力等を中心とした活動を行っています。

西田太郎氏は、今年、開湯1300年を迎える三重郡菟野町湯の山温泉の「ホテル湯の本」の常務取締役で、この仕事に就いて15年、県旅連の先輩の紹介で加入した組合青年部に携わって14年になります。

平成29年4月に青年部部長に就任され、情報過多のこの時代に、適切な情報を取捨選択して、青年部員一人ひとりが自分の置かれている状況を見失わず、着実に前進していける、その一助となる組織運営を目指し、「目的、目標、やるべきことを見失うことなく励み、努力し続けること」このような意味を持つ「万里一空」という言葉をスローガンとされました。

古き良き日本文化を継承し、現代に伝えるという重要な使命を担う旅館経営に誇りを持ち、次世代に伝えていきたいという思いのもと、昨年度青年部内に「研修委員会」と「宿の地位向上委員会」を設置しました。

「研修委員会」においては、昨今問題となっているインターネット上のみで取引を行う旅行会社(OTA)やインバウンド対策、労務問題等、旅館経営に直結する研修を行っており、5月には業界で生産性向上のための優れた取り組みをされているあわら温泉の旅館に視察研修を実施しました。

また「宿の地位向上委員会」では、民泊や人材不足など業界が抱える諸問題への対応し、2月には業界のイメージ向上の思いも込めて、三重県立津商業高等学校においてマーケティングの授業も実施しました。

西田氏に青年部について伺うと、商工会や商工会議所等、異業種の青年部ももちろん大切だが、同業種が集まる県旅連青年部は、全国の研修会などに参加したり、県外の先進的な施設の視察を通じて新たな気付きを得たりと、大変存在意義の大きな組織です。

また、全国各地にいる同世代の同業者との交流により今後の旅館経営にとって財産となる人脈を築くことができる青年部の存在はとても重要であると答えてくださいました。

他業種ではAIの進歩により、生産性向上のための機械化が進む中、この業界はまだまだ人が相手の職種であり、お客様の気持ち、おもてなしの心が何よりも大切で、人間味あふれるサービスを心がけています。

仕事上でも青年部でも一緒だが、人の気持ちを考えることを一番大切にしています。政府がすすめている働き方改革の実現に向け、入社間もない若手スタッフや子育て世代のスタッフ、ベテランスタッフなど、スタッフ全員にとってより働きやすい職場環境づくりを目指して、今後もこの問題に力を入れていき、そして、この業界に携わる人たちがみんなが笑顔で過ごしていけるよう、青年部員一丸となって前を向いて歩んでいきたい、とたぎる想いを語ってくださいました。